

科目名	特別研究	英文表記	Advanced Research	2013/02/12			
科目コード	6202						
教員名: 情報通信システム工学科全教員 技術職員名: 佐竹卓彦、比嘉修、蔵屋英介				作成			
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
創造システム工学専攻・電子通信システム工学コース	専2	必	履修	8単位	実習	通年	
科目目標	研究テーマに関する調査研究・課題・研究計画・実験・考察などを経て、社会に有用な新規性・独自性のある結論を導き、その成果を論文にまとめるという基礎的な研究能力を養う。関連する専門の基礎学力の向上に努め、最新の応用技術を調査し、研究内容について学術的に論述・発表できる論文作成能力・プレゼンテーション能力を養う。						
総合評価	基礎的な研究能力は主査による評価とし、内訳は、課題に対する理解・取組、研究計画・過程の報告状況、認識、課題・研究内容における調査研究、実験研究・解析に対する理解、取組、実験内容に対する考察・まとめとする。研究内容について学術的に論述・発表できる論文作成能力・プレゼンテーション能力は副査による評価とし、内訳は、研究・背景・目的理解、実験方法・解析手法・結果、考察・まとめ・質疑とする。						
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)		達成度目標の評価方法		目標割合		
	①	研究テーマに関する調査研究・課題・研究計画・実験・考察などを経て、社会に有用な新規性・独自性のある結論を導き、その成果を論文にまとめるという基礎的な研究能力を養う。(B-3)	⇒	主査による評価(60%)とし、内訳は、課題に対する理解・取組、研究計画・過程の報告状況、認識、課題・研究内容における調査研究、実験研究・解析に対する理解、取組、実験内容に対する考察・まとめ	60%		
	②	関連する専門の基礎学力の向上に努め、最新の応用技術を調査し、研究内容について学術的に論述できる論文作成能力を養う。(C-3)	⇒	副査による評価(30%)とし、内訳は研究・背景・目的理解、実験方法・解析手法・結果、考察・まとめ・質疑	30%		
	③	研究内容について論理的に発表できるプレゼンテーション能力を養う。(C-3)	⇒	コース全教員による評価(10%)とする。	10%		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	情報通信システム工学	
		○	◎		JABEEプログラム教育目標	B-3, C-3	
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	90	10	100	
基礎的理解	②			20		20	
応用力(実践・専門・融合)	②			40		40	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	①③			20	10	30	
主体的・継続的学修意欲	①			10		10	
授業概要、方針、履修上の注意	授業はコースの特別研究指導教員のもとで実施する。 授業期間は2年間とし、1学年においては研究の基礎から中間段階まで取り組み、2学年において研究を完成させる。 研究テーマ詳細については、特別研究指導教員のテーマ内容(添付資料)を参照すること。						
教科書・教材	特別研究指導教員が提示する参考図書、および自ら検索した研究に関連する図書など						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	調査研究・課題・研究計画・実験	8	各テーマの内容・進捗状況による	関連項目の調査	
2	〃	8	〃	〃	
3	〃	8	〃	〃	
4	〃	8	〃	〃	
5	〃	8	〃	〃	
6	〃	8	〃	〃	
7	〃	8	〃	〃	
8	〃	8	〃	〃	
9	〃	8	〃	〃	
10	〃	8	〃	〃	
11	〃	8	〃	〃	
12	〃	8	〃	〃	
13	〃	8	〃	〃	
14	〃	8	〃	〃	
15	〃	8	〃	〃	
期末	期末試験	[0]			
16	成果報告審査	8	これまでの成果報告に基づいた審査	関連項目の調査	
17	調査研究・課題・研究計画・実験	8	各テーマの内容・進捗状況による	〃	
18	〃	8	〃	〃	
19	〃	8	〃	〃	
20	〃	8	〃	〃	
21	〃	8	〃	〃	
22	〃	8	〃	〃	
23	〃	8	〃	〃	
24	〃	8	〃	〃	
25	〃	8	〃	〃	
26	〃	8	〃	〃	
27	〃	8	〃	〃	
28	〃	8	〃	〃	
29	〃	8	〃	〃	
30	最終発表	8	これまでの成果報告・質疑応答	〃	
期末	期末試験	[0]			
学習時間合計		240	実時間	180	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
① 図書館・研究室などにおける文献調査・予備実験				180時間	
備考欄					
<p>・この科目はJABEE対応科目である。</p> <p>・この科目の主な関連科目は、卒業研究(5年)、特別研究(専1年)</p>					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)